

JA西三河青年部、「JA役職員との意見交換会」を3月27日に開催 青年農家の意見・要望をJAへ 活発な議論を期待

JA西三河青年部（澤邊敏克部長）は3月27日、JA西三河本店で「JA西三河役職員との意見交換会」を開催します。この意見交換会は同青年部が毎年行っているもので、今年で9回目。

青年部からは澤邊部長ら役員のほか、過去の青年部部長歴任者などが出席の予定。JAの名倉正裕代表理事組合長や常勤役員・部課長といった役職員に対して、JAに対する要望や疑問点をぶつけます。JA西三河からは、JAの理念や現在の経営概況などについて役職員が説明を行います。

【開催日程】

日時：3月27日（水）15:00～
場所：JA西三河本店 5階大ホール

【参加者（予定）】

青年部：
澤邊敏克部長、青年部役員、
過去の青年部部長歴任者など 合計12名
JA西三河：
名倉正裕代表理事組合長、
常勤役員、室部長、
営農部の課長・センター長など 合計14名



青年部員（左側）とJA役職員（右側）が
議論を交わす

【組合員との「徹底対話」を通して自己改革に挑む】

JA西三河では2014年より、「農家所得の向上」と「安心して暮らせる地域づくり」を目標とする自己改革の取組を進めています。

自己改革の方針や具体的内容の策定にあたって重視しているのが「組合員との徹底した対話」。JA西三河はJA西三河青年部や、農村生活アドバイザー（農家の女性）団体との意見交換会を継続して開催しています。近年は新たに、准組合員との意見交換会（2016年度より毎年9月開催、200人の准組合員を招待し意見交換を行う）や、支店別総代説明会（2017年度より9月開催、小規模での開催により活発な意見交換を行う）を開始し、組合員とのより多くの対話の機会を設けました。

より多くの組合員の意見をくみ上げ、事業に反映させることで、より農業者にとって役に立ち、組合員・利用者にとって頼れるJAを創ろうと改革に取り組んでいます。

JA西三河青年部の概要

～地域・作物を越えた青年農家のつながりづくり～

■JA西三河青年部とは

JA西三河青年部は、西尾市内の若手農業者（25歳から45歳まで）57人（2019年3月現在）で組織しています。メンバーの育てる作物は施設野菜・茶・水稻・鉢物・切花から畜産まで多岐にわたります。

栽培品目や地域を越えて若手農業者同士のつながりを作り、情報共有と自己研鑽を通して自らの農業経営を高めるとともに、地域農業の振興を推し進めることを目的としています。

■主な活動内容

- ・通常総会
- ・他地域青年部への研修会・視察
- ・農業まつりなど地域イベントへの参加
- ・県青協活動への参加
- ・研修会・講演会の開催
- ・交流イベントの開催
- ・JA役職員との意見交換会

■最近力を入れている活動



JAグループ愛知



◆農業PR街コンの開催（2017年11月）
青年部員17人と、県内各地より応募した女性14人が参加。梨収穫体験などを通して交流した



◆ポップコーン栽培と農業まつりでの販売
部員の畑約8㎡に爆裂種トウモロコシを植え付け、2018年8月には80kgを収穫。10月の農業まつりではこれを原料にポップコーンを作り販売。主に子どもに人気を博し、約400個を売り上げた



◆青年部×松井家トークライブ（2018年2月）
約1年間の世界一周旅行を経験した松井友和氏・加奈氏夫妻を講師とした講演会。地域住民にも門戸を開いて広く参加者を集め、松井夫妻の破天荒な生き様を伝えた